

令和7年度 前期 学校自己評価のお知らせ

保護者の皆様へ

これは、前期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」そして「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。

本校の教育活動に対してご理解いただきますとともに、今後ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

糸島市立波多江小学校

校長 重富 泰敏



糸島市立波多江小学校

【評価方法】4段階

4：よくできている 3：だいたいできている 2：ややできていない 1：できていない

【本校の教育目標】

豊かな心と知性をもった、心身ともに健康でたくましい子どもの育成

【本年度の重点目標】

目標をもち、仲間とともに協力し合いながら、粘り強くやりぬく「はたえっ子」の育成
～しかける→ほめる・みとめる→つなぐ～

—対話的な学びを通して「学びの喜び」を実感させる教育活動の創造—

項 目			児童評価	教員評価
豊かな心	1	友達に「どうしたの」「ありがとう」「ごめんね」などと、暴力や暴言ではなく、言葉で伝えることができた。	3.11	3.12
	2	自分のよいところや頑張りに気付くことができた。	2.60	3.00
	3	友達のよいところに気づき、協力して活動することができた。	3.15	3.15
確かな学力	4	波多江小スタンダードの学習のきまりを守ることができた。 ①筆箱の中身をそろえる ②学習準備を家では前日に、学校では授業前にする ③チャイムがなる前にトイレなどをすませてすわる など	3.03	2.91
	5	めあてに向かって、自分の方法や内容を決めたり選んだり、反応しながら聞いたり、自分の学びをふりかえったりすることができた。	3.15	2.88
	6	授業中に自分の考えを書いたり発表したり、友達と対話したりすることができた。	3.00	2.97
健やかな体	7	学級の目標を意識したり自分の目標をもったりして、粘り強く努力し、最後までやりぬくことができた。	3.08	3.06
	8	外で元気に遊んだりスポコンに取り組んだりして自分の体力を高めようとすることができた。	3.13	2.94
	9	学校生活のきまりを守ったり、自分の役割をもって、進んで働いたり活動したり（係や当番の仕事など）することができた。	3.27	2.91

令和7年度前期 重点目標における児童・教師評価 考察

【豊かな心】

- ①「友達に『どうしたの』『ありがとう』『ごめんね』などと、暴力や暴言ではなく、言葉で伝えることができた」と③「友達のよいところに気づき、協力して活動することができた」の項目は、どちらも 3.10 以上の高い結果となりました。これは、人間関係づくりの上で、本年度、最も大事に指導している内容です。暴力や暴言についても少しずつ改善してきており、児童も成長を感じているところです。今後も、対応的な指導だけでなく、道徳や学級活動等での計画的・系統的な指導とともに、粘り強く指導と支援をしていきます。また、何か事案が発生した時には、学校の問題としてとらえ、チームで解決していきたいと思います。
- ②「自分のよいところや頑張りに気付くことができた」の項目は、児童の評価が 2.60 と最も低い結果となりました。この項目は、自尊感情につながるもので、自信や挑戦心、他者と協働する力といった「たくましく生きる力」の素地となります。後期は、学習活動のすべてにおいて「(個や集団の)目標設定」、経過や結果における「評価(自己評価・相互評価・他者評価)」及びシェアリング(ふりかえり)を行い、一人一人が自分のよいところに気付く時間をつくることで、児童の自尊感情を高めていきます。

【確かな学力】

- 児童評価の全ての項目で、3.0 以上と概ね高い結果となりました。多くの児童が授業で知識・技能面が伸びたことを感じています。これは、授業での「まとめ」や「ふりかえり」を確実にやっていることの成果と考えます。「考えを友達と伝え合う」項目を分析すると、約 8 割の児童が「できた」と答えており、このことから、校内研究の軸である、「対話」を中心とした授業づくりができていくことがわかります。これからも、児童の知的欲求を高める学習課題と学習活動の工夫を行い、表現する技能を丁寧に指導し、評価を充実させることで児童が自信をもって表現する力を伸ばしていきます。

【健やかな体】

- 児童評価の全ての項目で、3.0 以上の概ね高い結果となりました。児童は学級の目標を意識し、進んで働いたり活動に参加したりしながら達成感や充足感を味わい、教員も児童の様子に成長を感じていることが分かります。学級の中に自分の役割があり、それに満足していることは、集団への所属感になり、自分や仲間を大事に思う自尊感情の向上にもつながることから、今後も指導を続けていきます。
- 「波多江小スタンダードの学校のきまりを守り、安全に過ごすことができた」内容について分析すると、「いつもできている」と回答した児童が約 4 割しかおらず、安全に過ごせているとはいえない状況もわかりました。学校は、集団生活の場です。多くの人との関わりの中で、自分の主張だけを通しては、危険なことや不満が起こりえます。学校では、集団生活の基本(時間・持ち物・行動等)と併せて「なぜ『きまり(ルール)』や『ルール』があるのか」について、今後も児童が「みんなが安全・安心に楽しく過ごすことの大切さ」を実感できるよう指導していきます。

保護者評価（アンケート）の結果について

1. 実施期間 令和7年10月7日（火） ～ 令和7年10月14日（火）
2. 配布方法 職員室コネクトサービスによるフォーム配信
3. 評価 4段階 4：よくできている 3：だいたいできている
2：できていないときの方が多い 1：できていない

項目	お子様の姿・学校の姿		評価
I 学校満足度	1	お子様は、学校生活を楽しんでいますか。	3.59
II 目指す子ども像の達成度 目標をもち、仲間とともに協力し合いながら、粘り強くやりぬく「はたえっ子」の育成	2	お子様は、誰かが困っていると「どうしたの」と優しく声をかけるなど、相手の気持ちを考えながら友達と仲良く遊んでいますか。	3.31
	3	お子様は、怒った時や困ったときに自分の気持ちを言葉で伝えていますか。	3.14
	4	お子様は、「ありがとう」や「ごめんなさい」と素直に伝えることができますか。	3.34
	5	お子様は、ご家庭で自分から進んで学習していますか。	2.93
	6	お子様は、学校のことや家のことなどに目標をもって最後まで取り組むことができますか。	3.13
	7	お子様は波多江小スタンダードの「決めよう守ろう親子で3つのルール」を守っていますか。（家族との会話・規則正しい生活リズム・ゲームやSNS家庭のルール）	3.06
	8	お子様は、自分にはよいところがあると感じたり、がんばってよかったと感じたりしていますか。	3.44
	9	お子様は、地域のよさ（「波多江には…な よいところがある。」「波多江の…を大事にしたい」など）を感じていますか。	2.90
III 学校の教育活動の充実度	10	学校は、「わかる・できる・楽しい」全員参加の授業づくりに取り組んでいると感じますか。	3.34
	11	学校は、互いの考えを出し合い、対話する学習に努めていると感じますか。	3.37
	12	学校は、生命尊重や思いやりの心等、豊かな心づくりに努めていると感じますか。	3.41
	13	学校は、いじめのない安心した学校・学級づくりに取り組んでいると感じますか。	3.41
	14	学校は、体育や食に関する指導を通して、健康づくりに取り組んでいると感じますか。	3.45
	15	学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていると感じますか。	3.47
	16	学校は、学級通信等で、学校や子どもたちの様子を積極的に伝えていていると感じますか。	3.49
	17	学校は、家庭や地域と協働して子どもを育てたり、地域のよさを感じる子どもを育てたりしていると感じますか。（コミュニティ・スクール）	3.36

保護者評価 考察

【学校満足度】

- ①「お子様は、学校生活を楽しんでいますか」の項目に 3.59 と一番高い評価をいただきました。「安心して過ごせる環境が整っていると感じる。」「友達とのトラブルの際には、迅速に解決の場を儲けてくださったり、電話連絡をくださったりしてありがたかった。」などのご意見もいただきました。これは、学校や教職員の取組・対応に評価いただいている結果だと考えます。本校は、「いじめ・トラブル」への迅速で丁寧な対応と指導を大切にしています。今後も、児童が「学校が楽しい」と実感することができる学校運営を進めていきます。

【目指す子ども像の育成度】

- ②「誰かが困っていると『どうしたの』と優しく声をかけるなど、相手の気持ちを考えながら友達と仲良く遊んでいますか」③「お子様は困ったときに自分の気持ちを言葉で伝えていますか」④「『ありがとう』や『ごめんなさい』と素直に伝えていますか」の項目は、3.0 以上の高い評価でした。本年度、学習や生活の中で、「対話」や「伝え合う」ことを大切にしています。今後も、学校・家庭・地域で、「自分の気持ちや思い、考えを相手に『言葉』伝えること」を大切に、さまざまな取組の中で児童同士をつないでいきます。
- ⑧「お子様は、自分にはよいところがあると感じたり、頑張ってよかったと感じたりしていますか」の項目は、3.44 と高い評価でした。これは、学校において、児童の「意欲と見通し」を大切にしたい認め合う学級集団づくりの効果が現れつつあると考えます。また、各家庭や地域において、「がんばっているね!」「すごいね!」などの児童への励ましや賞賛を大切にしてくださっている結果だと考えます。今後も、学校・家庭・地域で児童の自己肯定感を高めていく取組を推進・充実を図ります。
- その一方で⑨「お子様は、地域のよさ（「波多江には…なよいところがある。」「波多江の…を大事にしたい」など）を感じていますか」の項目については、2.90 と他の項目と比べて低い評価となりました。しかし、⑰「学校は、家庭や地域と協働して子どもを育てたり、地域のよさを感じる子どもを育てたりしていると感じますか」の項目については、3.36 と高い評価をいただいております。取組の効果も感じていただいていることが分かります。後期は、教科やクラブ活動、バザーなどの「学校・地域連携の学習」の充実を図り、「波多江のひと・もの・こと」の活用し地域に働きかける教育活動を推進していきます。

【学校の教育活動の充実度】

- 全ての項目で 3.3 と高い評価をいただきました。ありがとうございます。昨年度、⑮「学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていると感じますか」の項目に関連して、「遊具の少なさ」についてご意見いただきました。本年度、ブランコの設置が教育委員会により行われ、子どもたちの笑顔が増え、大変、嬉しく思います。
- 同じく⑮「学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていると感じますか」の項目と関連した内容として「体育の更衣の際、部屋を分けるなどの対応策を検討してほしい。」とのご意見がございました。こちらも、「児童女子更衣室」の設置に向けて検討を始めています。今後も、子どもの「安心・安全」を大切にしたい学びの保障や環境づくりに努めてまいります。